

鶴城中だより

文責
校長 田上明利
No.14

いよいよ最終楽章 第3学期がスタート

始業式校長式辞より

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお祈りします。

1月8日（火）、第三学期の始業式を行いました。その式辞の概要は以下の通りです。

「We can do it」を掲げましたので、ぜひ、残された日々各自が努力してほしいと思います。まず、心の教育についてです。

○「全員、朝から登校」を目指す。
○「ありがとう」があふれる学校に。
○いろいろな本に出会おう
○全員参加の式典の成功
次に、確かな学力について

○読解力、自己判断、自力解決の力をつける。
○自分の言葉で授業のふりかえりを。
○学習内容をわかるまで。

○自力での家庭学習の習慣化を
最後に、健やかな体の育成では、
○感染症にかからない自己管理
○生活リズムと体力づくり
二学期の終業式で、橋本左内の「稚心を去れ」という言葉を紹介しました。まずは、稚心を去ることが立派な人になるための第一歩である。いつまでも親（保護者）に甘えるなど。
今日は、同じ幕末の思想家 家吉田松陰の言葉を二つ紹介します。

見事な門松が 正面玄関を彩る

昨年末、大坪PTA会長様、江藤PTA副会長様をはじめ、保護者有志の皆様のご厚意により、鶴城中学校正面玄関に堂々とした門松が設置されました。

したのは、午後四時頃でした。鶴城中最後のお正月ということ、年神を学校に迎え入れる依り代として、きつと、よき閉校の時を迎えることができるのではないかと実感したところ、ご協力いただいた皆様



寒い中、また、年末のお忙しい中、本当にありがとうございました。



みなさんには、将来の夢がありますか。親から自立するのは、もうすぐそこです。自分が納得できる人生を送るためにも今しっかりと夢や目標を三学期にしっかりと固めてほしいのです。もう一つ紹介します。

最近、インターネットが急速に普及し、顔を合さなくとも友達になることがあるようですが、顔も見たことのない人を本当に信頼できる人だと言えるでしょうか。インターネットの世界だけで満足せず、多くの人と直に出会ってよき友を見つけたいと願っています。残された日々を全力で、悔いなく頑張りましょう。

快挙！ 十八点入賞

年末、大晦日の熊日新聞をご覧になったでしょうか。熊日学童スケッチ展の入賞者が発表されましたが、何と、本校から地賞の牛島涼香さん（前々号で紹介）以外に十七名が入賞していました。生徒数四十六名中十八点入賞は、おそらく県下の小中学校で最も優れた成績だと思えます。正に

- 有終の美、快挙です。
- ☆奨励賞
1年 男澤爽太君、清水匠君、田中樹理さん
2年 吉里秀徳君
- ☆佳作
1年 中島想奈さん、伊豆永愛梨さん、平川詩織さん、西嶽美姫さん
2年 福島涼君、谷口明日光さん、森田愛梨さん
3年 大坪尊君、森本貴幸君、塚本恵太君、丸山綾菜さん、手島夏希さん、和田健文君

